

令和4年度 八尾市文化財保護審議会 会 議 録

開催日時		令和4年6月15日(水) 午前10時30分～11時30分
開催場所		八尾市役所本館 8階 801会議室
出席者	委員等	山中浩之会長・森 隆男副会長・瀧浪貞子委員・石川知彦委員、杉野 丞委員・綿貫友子委員・長友朋子委員、禰宜田佳男委員：10名のうち8名の出席（藤岡 穰委員・稲城信子委員欠席）
	事務局	南課長・西澤課長補佐・藤井係長
傍聴者		なし
次第	案件1 会長・副会長の選出 報告1 令和3年度 文化財調査の成果 (1)指定文化財について (2)その他の指定等 (3)国史跡由義寺跡(第3次)の発掘調査 報告2 令和4年度 文化財調査等の計画 (1)市指定文化財候補の調査 (2)市指定文化財の修理 (3)国史跡由義寺跡(第4次)の発掘調査	
	審議経過の内容	案件1 会長・副会長の選出 審議会委員の互選により、会長に山中浩之委員、副会長に森 隆男委員が選出された。 報告1 令和3年度 文化財調査の成果 事務局より資料に沿って、調査成果等を報告 (委員の質疑・意見) ◆指定文化財の公開等を行わないのか。 (回答) 今回の指定は寺院の本尊で、信仰の対象であることから、そのことを理解いただけたら、所有者の了解のもと、参拝することは可能との理解を得ている。これまでも市所有(歴史民俗資料館保管)の指定文化財は、指定後に公開して、指定の周知に努めている。また、国登録の木村家住宅及び追加指定の郡川西塚古墳については、見学会を実施し、普及に努めている。 ◆郡川西塚古墳の指定範囲に周濠は含まれるのか。 (回答) 発掘調査の成果を踏まえ、墳丘及び周濠、外堤の範囲を指定範囲としている。 報告2 令和4年度 文化財調査等の計画 (1)市指定文化財候補の調査 事務局より資料に沿って、文化財調査等の計画を報告 1. 紙本墨書 大集経 涅槃経 断簡 親鸞聖人真筆 一幅(書跡) (担当の石川委員より補足説明) ・過去に論文に掲載された資料で、真筆は間違いないとみられるが、稲城委員(仏教文化担当)とともに資料調査を行いたいと考えている。 2. 考古資料の調査 (担当の長友委員より補足説明) ①高安千塚古墳群 郡川南支群 郡川16号墳出土土器(古墳時代後期) ・朝鮮半島由来の韓式系土器やミニチュア土器が含まれており、高安千塚古墳群を考える上で貴重な資料である。 ②八尾南遺跡出土 儀仗形木製品(古墳時代前期) ・弥生時代からみられる儀仗形木製品の中で、頂部に壺の形を模した貴重な資料。出土した井戸より、土器(壺)も出土しており、時期も確定できるとみられる。

(2) 市指定文化財の修理

玉祖神社本殿については、現状を保持するための小修理で、杉野委員の指導のもと、今月末に終了予定であることを報告。

(3) 史跡の調査：国史跡由義寺跡（第4次）の発掘調査

現在調査中で、基壇東側の状況が確認できつつあることを報告。

以上、意見聴取の後、審議会出席の委員全員より、令和4年度文化財調査計画は了承された。

その他報告

(1) 観光・文化財課の事業等について

事務局より資料に沿って、報告

文化財施設の利用状況（令和3年度）

（委員の質疑・意見）

◆新型コロナの影響はあるのか。

（回答）臨時休館はあったが、令和2年度から徐々にではあるが利用者数は回復傾向にある。

◆新たな指定管理者の期間となった旧植田家住宅の取り組み等の把握はどうなっているのか。

（回答）4つの文化財施設を集めた会議を定期的に行っており、各施設の事業等の意見交換と情報共有を行っている。また、旧植田家住宅の指定管理者と、地域の人々らとともに管理運営ミーティングに参加し、直接的な意見交換を行っている。

◆指定管理費用は、各施設はどうなっているのか。

（回答）各施設とも指定管理期間の総額としては、前5年間とは人件費の高騰分を中心に増額している。

(2) 市史編纂事業について

・『美術工芸編』を刊行し、『建造物編』・『通史編』の刊行を進めている。

会議録作成日

令和4年6月16日

主管課

観光・文化財課